

少年センターだより

発行 日野町少年センター
〒529-1602
日野町河原一丁目1番地
TEL/FAX 0748-53-1325
<http://www.rmc.ne.jp/h.g.s.c>

やめられない！「ネット依存」・「ゲーム依存」の怖さ

「ネット依存」「ゲーム依存」とは、ネットやゲームのやり過ぎによって、睡眠不足や課金によるお金の使い込みなどの問題が起きているにもかかわらず、自分をコントロールすることができず、行動がエスカレートしていく状態のことをいいます。



ネットゲーム・スマホゲームの特徴

- ①利用頻度や課金等による利用額がエスカレートしやすい。
 - ・長時間プレイしていけば良い結果が出る仕組みになっているため、なかなかやめられない。
 - ・課金する（お金を支払う）ことで、効率的にプレイできるようになるゲームが多い。
- ②ユーザーに長く楽しんでもらうために、工夫をこらしている。
 - ・新しいミッションやアイテムの通知、大型アップデートなどでまたやりたくなる。
 - ・始めるとボーナスがもらえるゲーム、アイテムが抽選で手に入るようにしてあるので何回も抽選に参加してしまうゲームなど、欲求をあおるしくみになっている。

ネット依存・ゲーム依存になってしまうと……

- ①ネットやゲームをしたいという強い渴望が見られる。
- ②一日に10時間以上も続けたり、授業中にスマホをチェックしたりなど、行動を調整できない。
- ③ネットやゲームができないとイライラする、無気力になるなどの様子が見られるようになる。
- ④最初は短時間で満足できていても、利用時間が徐々に増え、やがて10時間以上続けても満足できなくなる。
- ⑤ネットやゲームが生活の中心になり、学校を休み続けるなどの日常生活に問題が起こる。
- ⑥今のネットやゲームはユーザーを引き留める仕掛けが巧妙で、アルコール依存症よりもやめることが難しいといわれる。

体にもこんな影響が出てしまう！

- ①「眠らない」「食べない」「動かない」など生活が乱れていく。
- ②「視力の低下」「頭痛や吐き気」「発育異常」「低栄養状態」など、体調が不安定になる
- ③「イライラ・攻撃性」「意欲・関心の低下」「無表情」などの精神的な乱れが生じる。
- ④脳への影響が出て脳機能が低下し、冷静な判断が難しくなったり、刺激に慣れたりする。

遊ぶ前に親子で
ルールを決めておこう！



お家の方へお願い（依存症にならないために）

- ①ポジティブな言葉がけで、あたたかな家族の会話を増やしましょう。
- ②子どもが得意なことをさせ、達成感や自己肯定感を持たせましょう。
- ③場所や時間など、具体的なルール作りを家族で話し合しましょう。
- ④趣味や運動、外出などをすることで、ストレスを抱えさせないようにしましょう。

～参考「ネット依存・ゲーム依存がよくわかる本」（樋口進）より～

「学校・家庭・行政がタッグを組んで・・・」

日野町教育委員会 教育長 安田 寛次

新学年がスタートして約1か月が経過しました。子ども達の歓声がどの校園からも聞こえてきます。

この4月2日から、日野町教育委員会教育長を拝命しました安田寛次（やすだひろつぐ）と申します。もとより、浅学非才な身ではございますが、町民の皆様のお知恵とお力をお借りしご指導ご支援をいただきながら、また、多くの関係機関の皆様のお力添えを賜りながら、誠心誠意、全力で取り組んでいく所存です。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

さて、今号の「少年センターだより」で子ども達を取り巻くネット社会への対処、とくに「ネット依存・ゲーム依存」について取り上げていただきました。このことは未だ収束しないコロナ禍にあって危惧すべき極めて重要課題となっています。この課題については、各学校においても子ども達の発達段階に応じた学級指導を学級担任が中心となって展開いただいているところですが、学年のスタートに際し、今一度家庭の皆様とタッグを組み、取り組んでいただきたい内容を記させていただきます。

- ①インターネットの利用目的やリスクを家庭でも話し合ってください。
- ②なぜルールが必要なのかを理解させ、自分のことだけでなく、相手のことも考えたルールづくりをお願いします。
- ③個人が特定されるような情報（動画や画像も含む）を許可もなくアップロードさせないでください。
- ④ネットへアップロードした情報は消すことができません。人を傷つけるような書き込みは絶対にさせないでください。
- ⑤家庭学習の妨げとなる使い方はさせません。アプリやゲームなどの使用については、家族でルールを決めてください。
- ⑥親自身が危険性を学び、フィルタリングサービス（不適切なサイトやアプリにアクセスすることを防ぐサービス）を利用してください。
- ⑦何か困ったことがあった時は、必ず、保護者へ相談するようにさせてください。

子育て小窓

伝えるということはなかなか難しいものです。自分が思っていることの半分も伝わらない時があれば、何も言わなくても伝わっていることもありますよね。相手に都合の良いように聞かれた時には、自分の説明は何だったのかと憤慨したり落胆したりします。それでもなぜか、口に出せば伝わるという感覚は誰しもが持っている、何としても伝えようと一生懸命になったことがあるのではないのでしょうか。子どもが相手なら、なおさらです。

子どもが相手になると、伝えたい気持ちよりも教えたいたい気持ちが出ることが多いです。しかし、それだけでは伝わりません。子どもはどんな表情をしているのでしょうか。どんな気持ちになっているのでしょうか。何か言いたそうなことはないのでしょうか。… 子どもの様子を見て、気づいてあげることも大人の大事な役割の一つです。たまには少しだけ時間をとって、子どもの話を聞いてみませんか。

（日野町子育て・教育相談センター T）

少年センターの活動

街頭補導活動

- ・青色パトロール車による街頭補導
- ・少年補導委員等による街頭補導
- ・中学校校門前での「朝のあいさつ運動」



非行防止啓発活動

- ・青少年の課題解決に向けた啓発活動
- ・昨年11月から小学校での朝のあいさつ運動と各小学校での看板と非行防止啓発ポスターを作製、掲示
- ・「少年センターだより」の発行
- ・新中学1年生向けに非行防止のしおりを作製



子どもの学習支援事業（IPPO） いっぽ

基礎・基本的な学習内容が十分に定着していない中学生等が将来の夢を実現できるよう、大学生のボランティアが学習支援いっぽ IPPO（一歩）を行っています。



有害環境の浄化

- ・昨年度、氏郷まつりが中止されたため、各地区公民館で薬物乱用防止啓発展示
- ・図書館での図書コーナーやわたむきホール虹での薬物乱用防止啓発展示
- ・薬物乱用防止教室を開催（町内5小学校の6年生と中学校2年生を対象に）

サポートスクール（「ステップ」）

不登校児童生徒の集団活動への適応学習支援、生活習慣改善の相談・指導を行い、学習復帰を支援しています。



無職少年の支援活動

無職少年の自立に向けて、就労、就学について支援を行っています。

- ・就職相談・紹介（関係機関との連携）
- ・就労、就学後の支援

関係機関との連携

家庭や学校・関係機関団体との連携を図ります。

「少年補導委員会総会」が開催されました

令和3年度日野町少年補導委員会総会が4月1日(木)に勤労福祉会館ホールで開催され、来賓の日野町長堀江和博様、東近江警察署日野警部交番所長山本誠様のあいさつの後、令和2年度の活動が報告され、令和3年度の活動計画が承認されました。

少年補導委員会は各地区公民館から推薦された23名の少年補導委員が、青少年の非行防止と健全育成を目指し、街頭補導や啓発活動などに取り組んでいただいています。

令和3年度日野町少年補導委員	
池内 美代子(上野田)	大宗 正和気(五月台)
河副 正美(松尾2区)	外池 多津彦(村井)
福本 喜美代(寺尻)	瀧井 恭子(大窪)
遠藤 鉄夫(河原)	
小森 慶一(奥之池)	森田 貴美恵(原)
川原 繁(安部居)	大橋 典子(中在寺)
岡村 忠一(音羽)	平岡 喜志夫(仁本木)
竹村 一男(鎌掛第2)	竹村 久子(鎌掛第5)
藤澤 義晃(下迫)	谷 たづ子(下駒月)
吉澤 茂樹(湖南カワイ)	安田 均(内池東)
富田 知津子(小谷)	富田 忠夫(三十坪上)
山添 秀雄(山本)	久村 眞里子(豊田5区)

つぶやき

私が病院の待合室で順番を待っていた時、春休みでお母さんと一緒に受診に来た小学生が座ると同時に、お母さんからスマートフォンを受け取ってゲームを始めました。ゲームに熱中しているので、周りに迷惑をかけることもなく静かに時は流れて行きました。

今の時代「パソコン」や「スマートフォン」が使えない子どもでは困ってしまいますが、ゲームにのめり込むと生活リズムが崩れ、強い刺激を繰り返し受けることによって、学習意欲が低下したり、喜び・悲しみ・怒りなどをコントロールする力が鈍ったりすると聞いたことがあります。

新しいデジタル機器を使うことは、親子でゲームを楽しんだり、友達と簡単に会話できたりなど良い面も多くありますが、使用時間を決める等のルールがないと、心身に影響がでたり人間関係が崩れたりなど弊害も多いと思います。

清々しい5月になりました。自然いっぱいの環境の中でも生活を楽しんで、心身ともに成長してほしいと思います。

日野町少年補導委員 富田 知津子

ひとりで悩まないでまずは相談を!

○相談時間：月～金 9:00～16:30

○電話相談 ○面接相談

*お気軽にお越しください。
(秘密は厳守します)

○場所：日野町少年センター
(日野町勤労福祉会館2F)

電話 0748-53-1325

E-mail hino.t-syonen.c@rmc.ne.jp



メールアドレス
QRコード

不正大麻・けし撲滅運動

～5月1日から6月30日～

マリファナの原料となる大麻や、麻薬の原料となるけしに係る事件の発生は後を絶ちません。事件の発生を未然に防止するため、不正栽培または自生している大麻・けしを発見した場合は最寄りの健康福祉事務所(保健所)又は警察署に連絡してください。